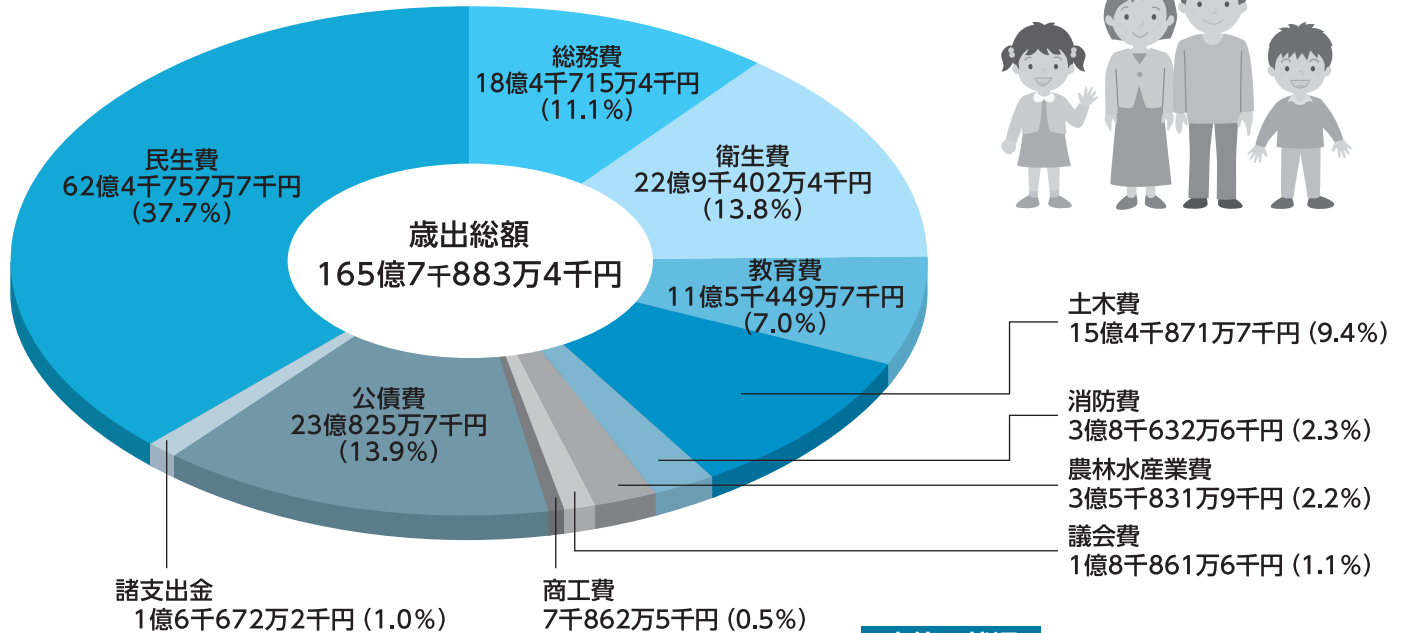


平成29年度決算

歳出



市債の状況

区分	現在高
普通債	173億6千416万7千円
災害復旧債	359万8千円

市税の負担状況

税目	収入済額	1世帯あたり負担額	市民1人あたり負担額
市民税	20億784万7千円	11万8千円	5万3千円
固定資産税	20億6千620万2千円	12万1千円	5万4千円
軽自動車税	1億3千258万6千円	8千円	4千円
市たばこ税	2億8千89万4千円	1万6千円	7千円
市税総額	44億8千752万9千円	26万3千円	11万8千円

平成29年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断基準	※(1.21)	※(6.93)	11.8	99.9
早期健全化基準	13.63	18.63	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、比率が-（マイナス）時には数値としても現れないため、黒字の比率を表示。

平成29年度決算に基づく資金不足比率

	水道事業会計	公共下水道事業特別会計
資金不足比率	-	-
経営健全化基準	20.00	20.00

※資金不足比率は、比率が-（マイナス）のため、-表示。

小松島市の健全化判断比率・資金不足比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、毎年度、前年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の公表を行っています。健全化判断比率、資金不足比率が一定の基準以上となった場合は財政健全化計画および財政再生計画の策定などが義務付けられています。

平成29年度決算に基づいた各指標の算定の結果、平成29年度健全化判断比率はいずれも早期健全化基準、財政再生基準を下回り、資金不足比率についても各企業会計において経営健全化基準を下回りました。

指標の説明など詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。